

令和7年1月8日

一般社団法人 東京建設業協会
会長 乗京 正弘 殿

一般社団法人 全国建設業協会
会長 今井 雅 則

昭和百年記念昭和天皇記念館大規模刷新・維持事業への
寄附金についてご協力のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より全建の活動に対しご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、この度、公益財団法人昭和聖徳記念財団より別添のとおり昭和百年記念事業として、国営昭和記念公園（東京都立川市）内にある昭和天皇記念館の展示内容の大規模刷新等のための寄附をお願いしたい旨依頼がありました。

本事業につきましては、経済界全体で支援していこうとの動きとなっており、（一社）日本経済団体連合会、日本商工会議所及び（公社）経済同友会からも当会に対し協力をお願いされております。

貴協会及び貴協会の会員各位におかれましては、本事業の趣旨をご理解のうえ可能な範囲でご協力をいただければ大変ありがたく存じます。

寄附の単位につきましては、個人一口1,000円、法人一口10,000円となっており、申込み及び寄附の実施は（公財）昭和聖徳記念財団のホームページ（<https://f-showa.or.jp/>）から直接お願いいたします。

なお、本事業への寄附金については、申告により税法上の優遇措置を受けることが可能となっております（個人：支払った年分の所得控除として寄附金控除、法人：「特定公益増進法人」に対する寄附金として損金算入。）

また、高額寄附者（個人100万円以上、法人500万円以上）の方々は、昭和天皇記念館内の銘板等にご芳名を記入し末永く顕彰されます。

何卒、よろしくごお願い申し上げます。

敬具

令和6年12月

公益財団法人昭和聖徳記念財団

会長 伊吹文明

昭和百年記念事業

昭和天皇記念館大規模刷新・維持募金委員会

会長 御手洗富士夫
特別顧問 三村明夫

昭和百年記念昭和天皇記念館大規模刷新・維持事業への寄附金についてご協力をお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は公益財団法人昭和聖徳記念財団の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当財団は、昭和天皇のご遺徳を偲ぶ記念事業を起し、そのご聖徳を永く語り継ぐため、当時の大槻文平日経連名誉会長が主導して平成4年1月に設立されました。平成17年11月には、全国民から寄せられた浄財を基に昭和天皇記念館を開館し、全国から多数ご来館いただいております。

当財団の主な収入源は基本財産等の運用益及び昭和天皇記念館の入館料ですが、運用益は金利及び為替レートの低迷により近年はごくわずかとなり、入館料の収入についても、昭和が遠くなりつつある時代の趨勢によって、漸減している状況です。これらの結果、財団の赤字は毎年大きなものとなっており、このまま推移していけば諸事業を継続していくことは困難となることが危惧されております。

一方、令和8年には昭和改元から100周年を迎えますので、昭和百年記念事業として、この際、昭和天皇記念館の展示内容を大幅に刷新して現代の人々にも親しみやすいものとし、末永く維持したいと考えております。

諸事ご多端の折り甚だ恐縮とは存じますが、各界のご支援を伏してお願い申し上げます。

敬具